

経済指標ウォッチャー

米ISM非製造業景況感指数 10月は低下

サービス業の景況感が再び低下

ISM非製造業景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）がサービス業を中心とする非製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国の非製造業の景況感を示す指標のひとつ。毎月第3営業日に公表される。米国GDP（国内総生産）において非製造業は全体の約7割を占めていることから、製造業景況感指数より重要と考える投資家も多いと言われる。製造業景況感指数と同様、50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

2020年10月は市場予想を下回る

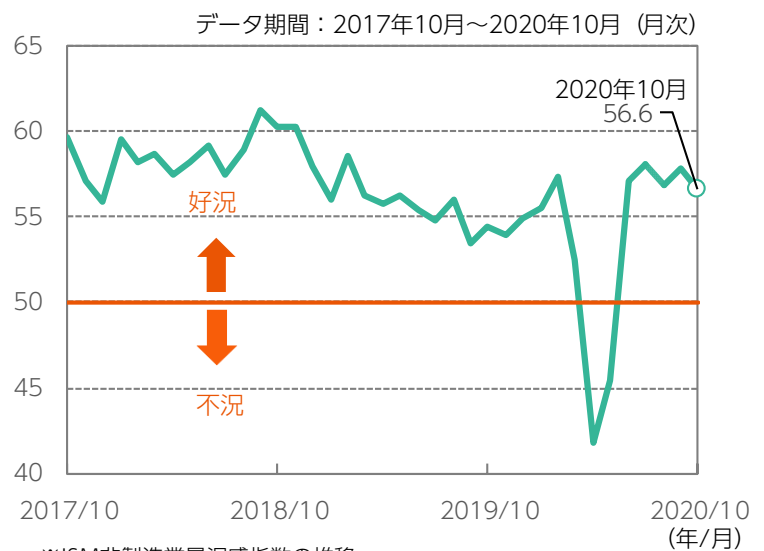
全米供給管理協会(ISM)が11月4日に公表した、2020年10月の非製造業景況感指数は56.6と、9月の57.8から低下しました(図表1)。市場予想の57.5を下回ったものの、好不況の判断の節目となる50を上回るのは、6月から5ヵ月連続となっています。経済活動の再開を受け、サービス業の活動は改善基調にあるようです。業種別では、18業種のうち輸送や食品サービスなど16業種が活動の拡大を報告しており、幅広い業種において、景況感の緩やかな改善が続いているとみられます。

活動制限の強化で景況感のさらなる低下も

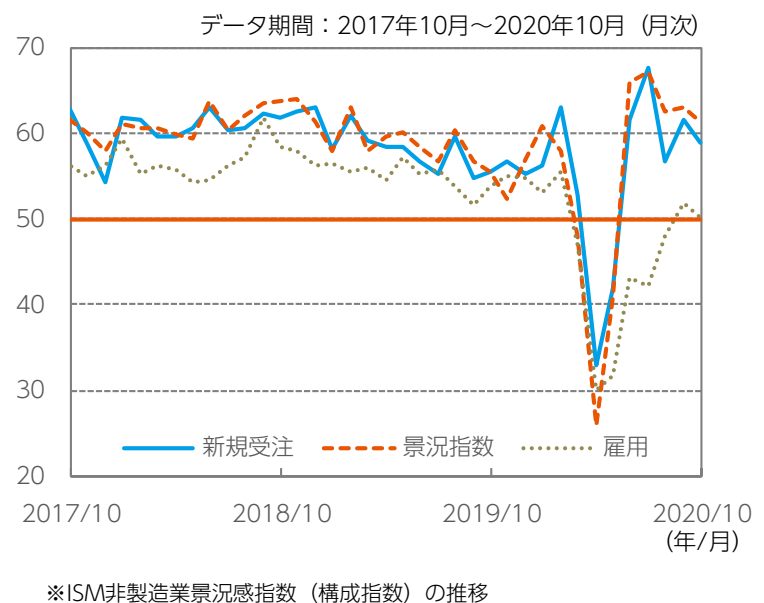
指数別では、新規受注は58.8(前月比-2.7)、景況指数は61.2(同-1.8)、雇用は50.1(同-1.7)と、6つの構成指数のうち3指数が前月から低下となりました(図表2)。8月から2ヵ月連続で大きく改善した雇用は、好不況の節目となる50付近まで再び低下しました。年末商戦に備え、大手小売業などが人員を増やす動きもみられますが、足元での新型コロナウイルス感染再拡大による先行き不透明感の強まりなどから、今後は採用を抑制するなど雇用を調整する動きも予想されます。

10月より米国で新規感染者数が急増しており、一部の州では再び店内飲食の禁止などの措置が採られています。今後、感染防止のための活動制限が強化されることとなれば、景況感のさらなる低下が予想されます。

図表1：景況感は前月から低下となる



図表2：改善傾向にあった雇用は再び低下



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>